

# 天沼中だより

令和2年12月25日  
杉並区立天沼中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>

## 失敗から学ぶ人 失敗から逃げる人

副校長 高際 尚子

天沼中では、学校内でものを壊してしまったとき、「破損届」を書きます。どんなものでも「物」は大切に、公共の物は私有物より大事にすることを学んでほしいという思いとともに、「大人」は公共物を壊したり失くしたりしたとき、「責任」を負う必要があることも教えるためです。学校の施設を管理する立場にある私のところにも、破損届をもって生徒がやってきます。「周りをよく見ずに動いてしまったために、壊してしまいました。すみません。」と、自分のしたことを説明し、気持ちを語ってくれます。生活指導主任も私も、やってしまったことを咎める気持ちはありません。生徒が「失敗から学んで」くれたらそれがすばらしい。あるとき、「故意ではないし、君自身にもケガもなかったし、これで破損届は預かるよ」と、私の印を押して言いました、「校長先生にもお詫びが言いたい。」と言うのです。破損届用紙にはあと一つ、校長先生のサインの欄が残っています。校長先生にお時間をいただき、直接その生徒は校長室を訪ね、校長先生からも言葉をかけていただいて、ほっとしたような様子で帰っていました。最後に、「いい経験になったね。」と私は声をかけました。私も心が洗われる思いがしました。

中には、「叱られる」と思うのか、自分のせいではない、わざとではない、という言葉が先に出る生徒もいます。「ごめんなさい。」がなかなか言えない生徒もいます。しっかり自分の「失敗」に向き合えるよう、話します。そんな生徒にも「いい勉強になったね。」と伝えて帰します。

先日の杉並区中学校対抗駅伝大会では、たすきをつないで走り切った本校の生徒にも感動させられましたが、男女ともトップに限らずアンカーのデッドヒートに目が離せませんでした。競り負けた選手だけでなく、「自分があと一秒タイムを縮めていたら」「自分が抜かれなかつたら」と、一走から四走の選手がそれぞれに悔いを口にします。もちろん、失敗などではなく、全員全力の結果には違いありません

ん。でも、その  
思いは、このこ  
とを糧に次に  
つなげよう、という「失敗から学ぶ」姿勢から出た  
思いなのでしょう。中学生はすごいな、と思います。



学校は、「特性に応じた教育」に取り組んでいます。悩むことがあります。特性に応じた教育と、「特別扱い」は紙一重です。「みんながやっていることだから頑張ってみたら?」と言ってあげたほうがいいのか、「君はやりたくないんだね。」とハードルを下げる事がその生徒のためになるのか、分からなくなることがあります。生活指導主任、担任、部活動顧問、スクールカウンセラー、巡回心理士、巡回指導教員、特別支援教育コーディネーター、学習支援教員・・・たくさんの人々がその生徒を理解しようと努力し、どうするべきか悩みながら方針を決めていきます。

失敗を恐れ、ハードルを下げる事がすべて悪いとは言えません。失敗しないほうがいい場合ももちろんあるからです。でも、最終的には失敗しても立ち上がれる人であってほしいと考えます。

学校には、行事もあります。行事は、生徒にとつて仲間と取り組む楽しみがあるだけでなく、つくりあげる過程で乗り越えるべきハードルがたくさん用意されています。失敗もします。だからこそ、行事を終えたときに生徒は一回り成長しているのです。行事がなくなり、6時間授業が土曜日まで続く日々ですが、そのことがまた一つのハードルであるとすれば、つまづき、落ち込みながらもなんとか乗り越えて成長した姿が見たいと願うばかりです。

本日、2年生の保護者の方には別紙お知らせいたしましたが、3月のスキー移動教室は杉並区の全校で中止となりました。これまで、2学年職員を中心にさまざまな事態を想定し、バスの増台、医療体制の確認、宿舎の感染予防体制等、何度も苗場の宿舎側とも打合せを重ね、3月の実施に向けて望みをつないでまいりましたので、学校としても大変残念です。今後、宿泊行事以外で学校としてできることを生徒と一緒に考えてまいります。

コロナ禍の中、行事だけではなく、生徒が自身の能力を発揮できる場も少なくなった2学期でした。作文や作品のコンクール、発表会、展示会、部活動やボランティア活動など、前年度までの天中生の活躍に比べると少なくなりましたが、2学期を振り返り、力を発揮した生徒の紹介をします。

### 薬物乱用防止キャンペーンポスター

優秀賞 2年

優秀賞 3年



### 平和のためのポスター

銀賞 1年

銅賞 2年

### 税の標語

全国間税会総連合会入選

東京国税局間税会連合会最優秀賞

東京国税局間税会連合会入選

荻窪税務署署長賞

同 会長賞

同 優秀賞

同 優秀賞

同 優秀賞

同 佳作

同 佳作

同 入選

同 入選

同 入選

同 奨励賞

同 奨励賞

「考えよう 税の重みとありがたさ」

「知ろう学ぼう税のこと 正しく納めてより良い社会」

「創ろうよ 正しい納税豊かな暮らし」

「NO税と言わず納税未来へと」

「考えよう 正しい税の 使い方」

「学ぶべき 暮らしを支える大事な税」

「納税は暮らしを支える第一歩」

「消費税 暮らし助ける支え合い」

「くらしやすい 日本を作る みんなの税」

「理解しよう 税の意味 税の役割」

「意識を高め 知識を増やそう 身の回りにある 消費税」

「考え理解し伝えよう みんなのための消費税」

「病院 赤ちゃん 高齢者 みんなを支える僕らの税金」

「税金は みんなの暮らしを守ってる」

「新発見！！ コロナで分かった税の大切さ」

### 阿佐ヶ谷図書館 展示(家庭科作品 布絵本)

3年



「できるかな『森の住人♪』」「めくってびっくり」「くだものとやさい」「ごはんをたべよう！」「まなぼう たのしうう」など、ユニークなタイトルの布絵本。阿佐ヶ谷図書館を訪れる人の目を楽しませっていました。

### ボランティア部 衛生病院訪問

12月8日、「医療関係の皆様へ」のメッセージカードを付けた本校ボランティア部特製のラベンダーのボブリを、3年の生徒が代表して、近隣の衛生病院にお届けしました。医療に携わる皆様の日々のご苦労を思い、ボランティア部の皆さんのが心を込めて作ったものです。そのほか、荻窪保健センターにもお届けしました。少しでも心が和んでくださったらと思います。



# 第21回杉並区中学校対抗駅伝大会 12.13(日) @済美山運動場



お天気にも恵まれた、杉並区中学校対抗駅伝大会。どの学校も練習も思うようにできない日々もありましたが、全チーム完走し、無事に終わりました。

応援席は参加者の保護者のみ、教員も引率5名までと制限された中でしたが、今年は生徒から募集したメッセージの中から、昇降口の窓にかつての卒業生が描いた「Believe in yourself」～自分を信じて～の言葉を入れた横断幕ができ、全校生徒からの応援メッセージも校内に掲示され、それぞれに選手を応援していました。12月21日の生徒朝会では、報告会がありましたが、選手からは「YouTube 見たよ」と後から声をかけてもらつてとてもうれしかった、という言葉がありました。ねらっていた入賞は逃しましたが、1, 2年生の選手はみな、来年度につなぐ決意をしていました。当日生配信されたYouTubeを見た人は、と聞くと、大半の生徒がさと手を挙げてくれました。(校長先生が「解説者」としてアナウンサーの横にずっと座っていて目が離せなかったという人もいました)

駅伝はチームで闘うものです。控えの選手も含め、全員心を合わせてたすきをつないでくれました。応援のぼりを作ってくれた生徒、朝の練習と一緒に参加して走っていた生徒の皆さんも、ありがとうございました。



【結果】  
男子 12位  
女子 15位

## 天沼小学校2年生 天中訪問(まちをりけん)

今年は2グループ、2日にわたって来校されました。お礼の手紙とレポートをいただいたので、一部ご紹介します。



★あまり入れない校長しつに入らせてもらったから、天沼中学校はこんなところもあるんだなと分かりました。天沼中学校は本が8500冊もあるからすごいと思いました。☺

★中学校のことを教えてくれた先生がやさしかったことや出口が大きいことや花がいっぱいさいていたことや校ていが広いことです。どれもびっくりすることがいっぱいありました。こんどまた行けたいです。

★かいだんが、下から見ると絵になっていることについて分かりました。木も花も合わせて200本以上で、ラベンダーが一番多いと言っていました。先生は毎日楽しいし、生ともそうだと思うと言っていました。

★すてきだなと思ったことは、先生と生とがなかよくべんきょうをしていいと思いました。生と先生が手をふってくれたのがうれしかったです。一度も会ったことがないのにおはようございますと声をかけてもらったこともうれしかったです。

## 歳末たすけ

### あい運動

例年のような街頭募金活動が一切できなかったため、「今できることをできるだけやりたい」という生徒会役員会からの呼びかけで、職員室で募金を受け付けることになりました。12月25日朝現在、円集まりました。ありがとうございました。

## 和楽器演奏発表会（音楽科）

【講師】中石祐子様 長谷川賢様 木下理恵子様



2年生は三味線と琴を選択して学習します。3回の授業で練習した「さくらさくら」を土曜授業で発表することができました。きれいな音色が響いていました。



## 伝統文化体験（1年総合）



1年生は今年度、年末から年始にかけて日本文化体験をしました。華道3回、茶道3回、それぞれ講師の先生がたから教えていただき、基本を習得しました。3学期も3回実施します。本校には立派なお茶室がありますが、今年度、密を避けるため、広い教室に畳を敷いての体験となりました。

【講師】華道小原流 森重幽花様、諸岡啓子様  
茶道表千家 菅 陽代様、石村祥子様

## 書道教室（国語）



昨年度まで1年生だけ3回体験していた書道教室ですが、今年度は1年から3年まで2時間ずつ講師の先生にご指導いただいています。12月24日には放課後書初め教室が行われました。（学校支援本部事業）

【講師】宮部北晴先生 宮部北風先生

## ダンス授業（保健体育）

力いっぱい体を動かしています。【講師】飯島裕太様、石塚菜々様  
右は、1年生体育における柔道着姿。減多に見られないので掲載させていただきました。



保健体育科では、ダンスの指導が始まっています。授業の中での発表に向け、課題の曲を終えてグループでの創作が始まりました。楽しく、

医療従事者  
の皆様へ

1日で、全校生徒の心のこもった感謝のメッセージカードが集まりました。「私も看護師を目指します」「皆さんのおかげで学校に通えています」「残り少ない中学校生活、大事にします」「自分も感染対策をしっかりしてコロナを乗り切りたい」という言葉が見られました。一部掲載します。学校からとりまとめて送らせていただきます。

